

## 第23回 日EU定期首脳協議 共同プレス声明（骨子） （平成27年5月29日，東京）

日EU首脳は、関係を強化し、国際社会の平和、安定と繁栄に更に貢献すべく第23回日EU定期首脳協議を行い、以下の共同声明を發出。

### 戦略的パートナーシップの更なる発展に向けて

- 【日EU関係】双方が戦後70年間国際社会の平和、安定と繁栄に貢献してきたことを確認し、共通の価値と原則に基づく戦略的パートナーとして、日EU、地域及び世界レベルで協力。
- 【SPA】今後の日EU関係の法的基礎となる日EU戦略的パートナーシップ協定(SPA)交渉の進捗を歓迎し、EPAと並行した交渉の加速化を指示。
- 【EPA】高度に包括的かつ野心的なEPAの早期締結の重要性を再確認。望むらくは2015年末までに、すべての主要課題を含む合意に達することを目指し、交渉官に懸隔点解決のための権限を付託。

### 世界の平和と安全に向けて

- 【安保協力】EU首脳は、日本の「積極的平和主義」の下での取組を歓迎・支持。また、マリ、ニジェールでのCSDPと日本の支援との連携を振り返り、ウクライナとソマリアでの協力可能性を模索。共同セミナー等、協力の着実な進展を歓迎。将来的な日本のCSDPミッション参加の可能性を含め議論。
- 【テロ対策】あらゆる形態のテロを強く非難。リスク軽減と国境安全対策強化を含め、日EU間協力を強化するとともに、国際協力を進める。
- 【グローバル・コモンズ】サイバー、宇宙、海洋における法の支配の確保の重要性を共有。第1回日EU宇宙政策・サイバー対話の開催を歓迎し、第2回対話に期待。ソマリア沖・アデン湾での海賊対処活動のための共同訓練の実施と、海賊に対する裁判協力を歓迎。
- 【軍縮・不拡散】核兵器のない世界という共通目標実現のため更なる協力を決意。NPT体制・多国間枠組の強化にコミット。武器貿易条約の効果的な実施と普遍化を進める。特に緊張状態にある地域につき、武器及び汎用品・技術の厳格な輸出管理の確保をコミット。
- 【地域安全保障環境】国際法に基づく紛争の平和的解決、公海上での航行及び上空飛行の自由を強調し、武力による威嚇、実力の行使、強制等を含む一方的行動を控えるよう求める。東シナ海・南シナ海の状況を注視し、現状を変更し、緊張を高める一方的行動を懸念。
- 【北朝鮮】核・ミサイル開発の継続を懸念。拉致問題を含む人権侵害を終わらせる措置を要請。
- 【ウクライナ】全ての当事者に停戦合意の完全履行を求め、ウクライナの改革等へ支援を継続。
- 【中東】人道状況・治安の悪化を懸念。地域の安定化に向け主要課題の政治的・平和的解決を支持。

### 成長、繁栄及び持続可能な開発を進める

- 【多国間貿易体制】ドーハ・ラウンド交渉を妥結することにより、WTO下で多角的貿易体制を強化。
- 【気候変動】国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)ですべての締約国に適用される野心的、包括的な合意を採択すべく、双方が役割を果たすことを決意。
- 【女性】女性の権利の保護とエンパワーメント、持続可能な平和と開発のための女性の活躍を促進。
- 【開発・防災】包括的なポスト2015年開発アジェンダに向けた取組、人間の安全保障の推進を含む協力を進める。第3回国連防災世界会議の成功を歓迎。人道支援・災害救援に関する専門家会合を開催。
- 【科学技術】「新たな戦略的パートナーシップに向けた共同ビジョン」を日EU首脳が承認。日欧研究者の協力強化に資する個別措置の重要性を確認。
- 【輸入規制】食品等の輸入制限措置を科学的に見直すことにコミット。

### 将来の協力のための相互理解を深める

- 【人的交流】欧州から150名の大学生等を訪日招待する旨発表。活発な議員間交流を歓迎。（了）